



あと一步の向上に向けた取組

函館市立千代田小学校

生活習慣・学習習慣の形成 基礎的・基本的な知識・技能の習得 望ましい学習態度の育成 学校組織・指導体制の改善

1 学力向上の具体的な方策

家庭学習の習慣化
朝自習やチャレンジテストの活用
CRTの結果を校内研究に活かす
放課後学習の取り組み
TTルームの活用

2 取組の概要

学年、学級間で差が生じぬよう、「家庭学習の手引き」を全世帯に配布し、効果的な宿題、自主学習ができるよう、発達段階に即し、一貫性ある指導に心がけている。

朝自習を中心にチャレンジテストをはじめ、ドリル学習や反復学習を心がけ、基礎学習の強化に努めている。

2年生以上の全学級で校内研究とタイアップした算数の標準学力検査（CRT）を実施し、課題を明確にした校内研究で学力向上に努めている。

基礎学力の底上げを図り、週2回自校教員による放課後学習を実施。不振分野の払拭を目指している。

TTルームに、全学年の進度に合わせた補充・発展問題を常備し、中・昼休みに誰でも自由に取り組めるようにしている。教員も常駐し、支援できる体制を整えている。

3 成果（ ）と課題（ ）

指導法を工夫し、算数的活動を保証することで、思考力や表現力を多少高めることができた。視点を明らかにした取り組みが成果に繋がっている。

チャレンジテストについては、継続的取り組みができるよう図る必要がある。全体的には北海道平均を上回る学力であるが、個別の問題を吟味していくと、基礎的な問題などに落ち込みが見つかり、改善点が浮き彫りになった。それをもとに下学年で指導を工夫している。